

平成19年度 第2回支部連絡協議会会議 議事録

開催日時：平成19年11月10日 13:00～15:30

開催場所：北海道作業療法士会 札幌駅北口事務所(札幌市中央区北7条西2丁目2-6 37 山京ビル 711号室)

出席者(敬称略)：

本間(札幌)、板垣(石狩)、小渡(空知)、世良(後志)、池田(日胆：室蘭)、坂本(日胆：苫小牧)、大堀(道北)、阿部(十勝)、石田(根釧)、南川(網走)古川(道南)、坂上(道士会事務局長)、菊地(理事)

議案1 支部連絡協議会および各支部 平成19年度年度活動中間報告、中間決算等

ほぼ計画通り執行され、下半期に向け活動修正・補正予算必要なし

議案2 支部連絡協議会19年度決算、20年度活動予定の提出期限について

来年度計画～各支部から連絡協議会には1月中旬までには提出

《事務局》予算は12月末までに大まかなもの出してほしい

今年度決算～2月中旬から下旬 事業は2月中に終わらせるように

※具体的な期日は後日大堀代表からメールで連絡する

議案3 支部連絡協議会副代表選任について(後志支部 辻氏転勤のため)

日胆支部 坂本氏に決定

議案4 各支部からの報告・検討事項

① 事務機能の効率化のためにOA機器を購入してほしい(十勝)

他支部からも要望あり。管理のわずらわしさから不要の意見も。各支部で必要性を検討し取りまとめたうえで協議会の備品として予算をあげる。

② 道士会ホームページに支部の研修会や公益事業の紹介などが出来るよう容量を増やしてほしい(十勝)

《事務局》調査部に容量を増やせるか確認する

③ 支部総会に理事が出席して道士会の方針や十カ年計画について会員に直接語ってほしい(十勝)

道士会の考えや方向性が支部の末端まで伝わっていない、逆に個人の意見が吸い上げられない、部局とのつながりも弱い、既に役員を講師として呼んでいる、など意見あり。部局から支部とのつながりを強化する動きはあり、福利部では直接役員と会員が接する活動の計画もあるとのこと。今回の要望は協議会として理事会にあげ、希望する支部は方法を検討する。

④ 他団体から祝賀会等の招待を受けた時の対応は(道北)

《事務局》道士会では出席の時は祝儀一万、欠席の時は祝電対応。全道レベルの会の場合は道士会の予算から支出し、支部役員に出席してもらうことも。連絡協議会として渉外費の予算をつけては 《理事》外向けの広報・交流したほうがいいので

医師との交流などは積極的にしてほしい

- ⑤ 新人教育プログラムが支部運営になったが各支部で意見はないか
申し込み先を支部にしてほしい、施設利用依頼文書がマニュアルにない、症例研究Ⅲのアドバイザー選定に時間が必要、支部内で講師できる人材を把握する必要ある、などの意見あり。教育部に報告
- ⑥ 災害時の住民支援活動について他の地域の実践など情報集め、話題にしている。
他の支部でも話題にしてみてもは(根釧)
《事務局》道士会で災害マニュアルを作成中、支部での資料あれば村岡委員長に送ってほしい
- ⑦ 研修会での託児のニーズは他の支部ではでているか(根釧)
参加できない会員のために講義を録画し郵送、レポート提出で認める方法を検討中なので託児の必要性はないという意見あり 福利部としては今後も推進する方向で具体的な支援方法を検討中とのこと(ビデオ受講については教育部と協議必要)
- ⑧ 生涯教育の士会裁量ポイントは支部活動で認められるか(日胆)
《事務局》今まではつけたことはない 他県との兼ね合いがあるので確認する

議案 5 道士会各部からの報告・検討事項

- ①学会評議委員会よりH22年度以降の学会開催地について意見を
開催地として名乗り出る支部はなし(消極的 or 拒否) 受けたくない理由として支部の会員数が増えていない、会場確保が困難では、他の活動に支障が出る、等その他の意見として作業を外注し実行委員の負担を減らす、学会を二つに分けては、地方開催のメリットとして地域の結束が強まる、観光できる・してもらえるなど。
- ②保険部より各支部別保険部員の設置を提案
了解 保険部に返答し選任手続き等確認する
- ③福利部より施設情報誌の情報提供が少ないので各支部からもアナウンスしてほしい、各支部から福利部部員選出を検討する
了解
- ④事業部より貸し出し物品・配布用折り紙セットの連絡 事業部に対する意見は
支部活動も含めて道士会で行われている公益活動を集約しては、という意見あり
《事務局》公益法人として必要 来年度の総会資料には各支部の細目を掲載する

議案 6 平成 20 年度第 1 回支部連絡協議会会議開催時期について

道士会総会開催日の午前中とする

配布資料：平成 19 年度活動中間報告・中間決算

記録者：根釧支部 石田さえ子